

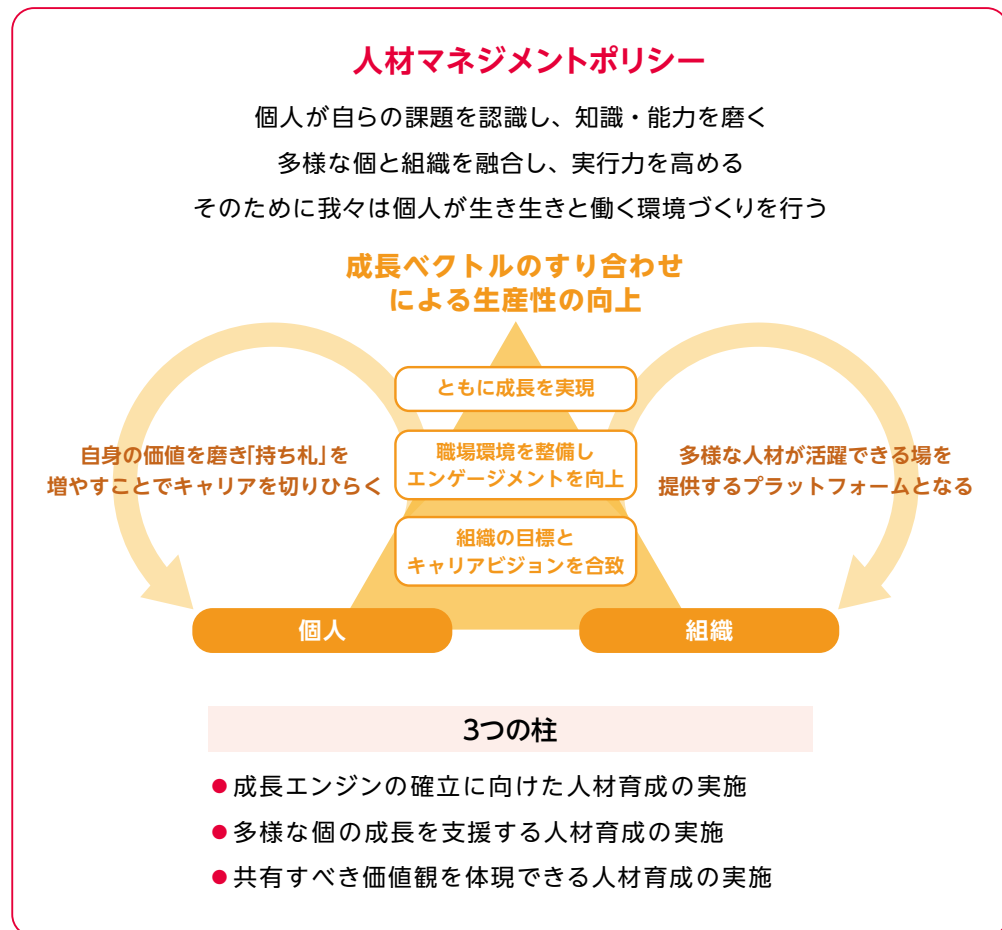
Contents

- 02 サステナビリティレポート2024について
- 03 編集方針
- 04 ヤクルトの企業概要
- 05 ヤクルトの事業展開
- 06 トップコミットメント
- 08 ヤクルトのはじまり
- 10 ヤクルトのサステナビリティ**
- 19 環境活動報告**
- 21 環境マネジメント
- 27 気候変動
- 37 プラスチック容器包装
- 42 水
- 46 資源循環
- 47 生物多様性
- 50 社会活動報告**
- 51 イノベーション
- 57 地域社会との共生
- 64 サプライチェーンマネジメント
- 75 人的資本**
- 75 人材マネジメント
- 78 人材育成**
- 80 健康経営
- 83 ダイバーシティ&インクルージョン
- 85 ワークライフバランス
- 86 労働安全衛生
- 88 ヤクルトレディに対する取り組み
- 89 人権
- 96 製品安全
- 99 顧客満足
- 104 ガバナンス報告**
- 104 コーポレートガバナンス
- 111 リスクマネジメント
- 113 コンプライアンス
- 116 第三者意見
- 117 外部からの評価
- 118 ESGデータ集

人的資本 人材育成

人材育成に関する基本的な考え方

「未来と学びをデザインする～“教わる”から“気づく”へ～」をテーマとして掲げています。職場で業務に挑み、それぞれの課題を認識し知識・スキルを身につけられる理想の環境を目指し、「教わる」のではなく「気づき・動く」教育へと進化を図っていきます。



人事評価制度を活用した人材育成

毎年、人事評価に関する研修を実施する等、公正・公平で納得性の高い人事評価制度の運用の徹底を図っています。また、2022年4月に人事評価制度が改定され、より適正な処遇の実現を図るとともに、2023年度も評価者および被評価者に対して人事評価研修等を実施し、評価のルール理解促進に努めました。

特に、評価者向けの研修においては、期初の目標設定や期中の行動観察、期末のフィードバック面談等、人事評価を通じて部下の育成につなげられるよう、評価者としてのスキルの向上を図っています。

従業員向け能力開発研修

従業員全員が「代田イズム」を伝承・実践し、組織の活性化と業績向上へ貢献するため、「グローバル人材養成」「職場内教育」「階層別教育」「経営課題別教育」等を実施しています。

研修受講時間・費用(ヤクルト本社)

年度	2019	2020	2021	2022	2023
研修受講時間(総計)	40,304.90	16,217.16	23,235.50	36,250.00	56,380.75
研修受講時間(時間)1人当たり	13.99	5.64	8.19	13.11	20.06
研修費用(円)1人当たり	21,274	12,900	18,756	41,144	75,478

※ 2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少

代田イズム研修会実施回数・参加者数(ヤクルト本社)

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施回数(回)	18	11	22	15	19
参加者数(人)	470	269	451	427	587

※ 2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、研修日程を短縮したため減少



Contents

- 02 サステナビリティレポート2024について
- 03 編集方針
- 04 ヤクルトの企業概要
- 05 ヤクルトの事業展開
- 06 トップコミットメント
- 08 ヤクルトのはじまり
- 10 ヤクルトのサステナビリティ**
- 19 環境活動報告**
- 21 環境マネジメント
- 27 気候変動
- 37 プラスチック容器包装
- 42 水
- 46 資源循環
- 47 生物多様性
- 50 社会活動報告**
- 51 イノベーション
- 57 地域社会との共生
- 64 サプライチェーンマネジメント
- 75 人的資本**
- 75 人材マネジメント
- 78 人材育成**
- 80 健康経営
- 83 ダイバーシティ&インクルージョン
- 85 ワークライフバランス
- 86 労働安全衛生
- 88 ヤクルトレディに対する取り組み
- 89 人権
- 96 製品安全
- 99 顧客満足
- 104 ガバナンス報告**
- 104 コーポレートガバナンス
- 111 リスクマネジメント
- 113 コンプライアンス
- 116 第三者意見
- 117 外部からの評価
- 118 ESGデータ集

プログラム体系図(2023年度ヤクルト本社)

稼ぐ教育		階層	稼ぐ教育				年齢	キャリアデザイン			理念共有
職場内教育			階層別教育 ライン職教育	次世代 リーダー 養成	グローバル 人材養成	イノベ ティブ 人材養成		職能別 教育	キャリア 教育	ビジネス ベースク	
OJT	職場 支援										
		役員	新任執行 役員研修								
		ゼネラル マネジャー 職									
		マネジャー 専門 管理職	新任ライン 部署長教育 新任ライン 課長教育 M群新 8等級教育 P群新 8等級教育	女性幹部 候補者 養成 (人事部と 共催)	グローバル インターン シップ (エグゼク ティブ)	赴任 コース(新任 海外赴任者・ 海外トレー ニー)					
OJT		リーダー 専門 監督職	新6等級 教育								
	職場内 支援者 研修	サブ リーダー 専門 指導職	新4等級 教育		インター シップ (ミドル)						
OJT	リーダー 教育	メンバー 一般職	入社3年間 プログラム		インター シップ (ジュニア)						

※グローバル人材養成「海外トレーニー」について、2024年度は別途企画

グローバル人材養成

成長分野である国際事業を含めたグローバルに活躍できる人材の養成は、重点課題の一つと位置づけています。そのため、本社では、海外事業所での業務体験を通じて国際事業への理解を深め、グローバル企業としての組織風土の醸成を目的とした「グローバルインターンシップ」制度があります。従来は年1回の開催としていましたが、2024年度は若手向け・中堅社員以上向けに階層を分けて、2回実施します。